



会期：令和4年11月12日（土）～13日（日）

会場：沖縄県那覇市ぶんかテンプス館

11月12日

開始時刻	終了	時間	内容等
9:00	9:45	0:45	受付 寺本沙也加（岩手県水産技術センター）・伊芸 元（沖縄美ら海水族館） ヘルパー：高橋海里・屋富祖七海（琉球大学）
総合進行および調整 久保弘文（沖縄県衛生環境研究所）			
9:54	9:59	0:05	開会挨拶 （大越健嗣会長）

口頭発表 Oral presentation 1日目

タイムキーパー：照屋清之介（沖縄県栽培漁業センター）、マイク係（ヘルパー2名）

発表データ受付およびPC等機器管理：福森啓昌（東北大学浅虫海洋生物学教育研究センター）

開始時刻	終了	時間	講演番号	座長	芳賀拓真（国立科学博物館地学研究部）
10:00	10:20	0:20	A01	小笠原諸島における海産生物の集団進化史：固有巻貝を例とした検証	山崎大志（高知大）○、伊藤舜（東北大）、三浦収（高知大）、佐々木哲朗（小笠原自然文化研究所）、千葉聡（東北大）
10:20	10:40	0:20	A02	南西諸島における潮上帯性巻貝コンペイトウの遺伝的多様性と分化	福森啓昌○（東北大・浅虫）・高野剛史（目黒寄生虫館）・山崎大志（高知大）・齊藤 匠（Masaryk University）・寺本沙也加（岩手県水産技）・狩野泰則（東大・大海研）
10:40	11:00	0:20	A03	リュウキュウミニナの分子系統地理学的研究	伊藤萌○（東大大海研・国環研）、廣瀬公子（東大大海研）、高野剛史（東大大海研・目黒寄生虫館）、山本智子（鹿児島大）、小島茂明（東大大海研）
11:00	11:20	0:20	A04	両側回遊性貝類の長寿命進化	近藤唯貴○・白井厚太郎・矢萩拓也・狩野泰則（東京大 大気海洋研）
座長 佐々木猛智（東京大学総合研究博物館）					
11:20	11:40	0:20	A05	イタヤガイ上科二枚貝類の分子系統解析：深海と海底洞窟の進化的役割	伊井智章○・矢萩拓也・狩野泰則（東大・大気海洋研）
11:40	12:00	0:20	A06	オホーツク海南部から得られたカミオボラ亜科の1未記載種とその分類学的位置について	長谷川和範○（国立科学博物館・動物研究部）・芳賀拓真（国立科学博物館・地学研究部）・樋口滋雄（仙台市）
12:00	12:20	0:20	A07	北大東島の海底洞窟性貝化石群	芳賀拓真（国立科博・地学）
12:20	13:20	1:00		昼休み	
座長 岩崎敬二（奈良大学文学部地理学科）					
13:20	13:40	0:20	A08	外来種コウワンミノウミウシ <i>Trinchesia perca</i> の生活史：完全飼育の結果から	藤村 隆雅・木村 妙子○（三重大・生物資源）
13:40	14:00	0:20	A09	ムカデミノウミウシ (<i>Pteraeolidia semperi</i>) における褐虫藻の細胞内共生構造	溝端秀彬○・富田憲司・米澤遼・林健太郎・木下滋晴・吉武和敏・浅川修一（東京大学大学院農学生命科学研究科）
14:00	14:20	0:20	A10	アサリ由来のsedimentary DNAの生成・分解フラックス及び移流距離の推定	北島京祐○（東邦大院・理）・鈴木風子（東邦大・理）・泉賢太郎（千葉大院・教育）・大越健嗣（東邦大院・理）
14:20	14:40	0:20	A11	貝殻を閉じながらも水管が出せるアサリ—垂下養殖の現場から考える国産アサリの在り方	藤野くるみ（水産研究・教育機構・技術研）○・大越健嗣（東邦大・理）
14:40	14:50	0:10		休憩	

開始時刻	終了	時間	座長 石田 惣 (大阪市立自然史博物館)
14:50	15:10	0:20	A12 フトヘナタリの殻形態と生殖巣成熟度の関係性 大田直友○ (阿南高専・創造技術工学科)・東和之 (阿南高専・技術部)
15:10	15:30	0:20	A13 東京湾におけるサキグロタマツメタの分布状況と種内多様性評価 岩崎 海・北畠京祐 (東邦大院・理)・泉 賢太郎 (千葉大院・教育)・大越健嗣 (東邦大院・理) ※
15:30	15:50	0:20	A14 巻貝に対するヒメエゾボラ稚貝の捕食行動 山上竜生○ (株 地域環境計画)・和田哲 (北大・院・水産)
15:50	16:10	0:20	A15 他個体の存在がアオモリムシロガイの捕食者回避行動に与える影響 富吉啓恵○・和田哲 (北大・院・水産)
16:10	16:15	0:05	会場移動
16:15	17:45	1:30	ポスター発表 1日目 奇数
17:45	17:50	0:05	会場移動
17:50	19:00	1:10	情報交換会 総合司会 伊芸 元 (沖縄美ら海水族館)・寺本沙也加 (岩手県水産技術センター)

11月13日

9:15 9:30

受付・入場

口頭発表 Oral presentation 2日目

開始時刻	終了	時間	座長 木村妙子 (三重大学大学院生物資源学研究所)
9:30	9:50	0:20	B01 標本記録から推定する絶滅種リュウキュウカワザンショウの分布と生息環境 石田 惣○1・澤田直人2・亀田勇一3・名和 純4・福田 宏5 (1大阪市立自然史博・2京大院・理・動物系統・3国立科学博物館・4沖縄県名護市・5岡山大・農・水系保全)
9:50	10:10	0:20	B02 愛知県の外来種 ブルーデータブックあいち2021 木村昭一○ (三重大院・生物資源)・柏尾 翔 (さしわだ自然資料館)
10:10	10:30	0:20	B03 河川水辺の国勢調査にみる河川貝類相の変遷 中井克樹 (滋賀県立琵琶湖博物館)
10:30	10:50	0:20	B04 塩性湿地に生息するオカミミガイ科3種の集団遺伝学的解析 井上香鈴1○, 矢萩拓也1, 木村妙子2, 木村昭一2, 狩野泰則1 (1東京大学, 2三重大学)
10:50	11:10	0:20	学生発表賞講評 (大越健嗣会長)・記念撮影
11:10	12:00	0:50	総会
12:00	13:00	1:00	昼休み
13:00	14:20	1:20	ポスター発表 2日目 偶数
14:20	14:30	0:10	休憩・移動
14:30	14:50	0:20	B05 貝のミュゼオミクス 座長 狩野泰則 (東京大学大気海洋研究所) 佐々木猛智○ (東大・総合研究博物館)・スティアマルガ デフィン (和歌山高専)・清水 萌 (東大・理・地球惑星科学)・照屋清之介 (沖縄県栽培漁業センター)・中野智之 (京大・瀬戸臨海実験所)
14:50	15:10	0:20	B06 生態と環境に適応する殻皮 吉村太郎○・佐々木猛智・上島 励 (東京大学)・Chong CHEN・岡田賢・高井研 (JAMSTEC)・中山健太郎・安里開士・野田芳和 (福井県立恐竜博物館)・平野尚浩・齊藤匠 (東北大学)
15:10	15:30	0:20	B07 日本産キセルガイのPhylogenomics (予報) 石川彰人1・スティアマルガ・デフィン2・豊田敦3・鈴木 稯1・上島 励1 (1東京大学, 2和歌山高専, 3国立遺伝研)
15:30	15:50	0:20	B08 南西諸島における陸産貝類の種多様性 平野尚浩 (東北大学東北アジア研究センター・東北大学大学院生命科学研究所)
15:50	15:55	0:05	閉会
15:55	16:25	0:30	貝類展示+貝類写真パネル解説 (沖縄大会実行委員会)

ポスターセッション Poster presentation

コアタイム 奇数8題（1日目：16：15～17：45_90分） 偶数7題（2日目：13：00～14：20_80分）

P-01	沖縄島におけるPlakobranchnus属（囊舌上目：チドリミドリガイ科）の形態的及び遺伝的多様性について	※
	山瀬 野衣○（琉球大院・理工），James Davis REIMER（琉球大・理、琉球大・熱生研）	
P-02	青森県竜飛崎で確認された潮間帯性軟体動物	
	中山 凌（青森県産業技術センター 水産総合研究所）	
P-03	囊舌類コノハマドリガイにおける走光性	※
	保田海○・保智己・遊佐陽一（奈良女子大学 大学院）	
P-04	土佐湾から採集されたArchaeomenia（溝腹綱：サンゴノヒモ目）の1未記載種	
	齋藤 寛（国立科学博物館）	
P-05	愛媛県における希少水生シダ植物デンジソウ自生水田へのスクミリンゴガイ侵入の影響予測とその薬剤防除の留意点	※
	黒田啓太1,2○・村上 裕1（1:愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター, 2:愛媛大学農学部環境昆虫学研究室）	
P-06	クロナマコに寄生するハナゴウナ科腹足類2種における付着部位の差異	
	高野剛史1○・長谷川万純2・井上香鈴3（1目黒寄生虫館, 2海洋研究開発機構, 3東京大学大気海洋研究所）	
P-07	盗葉緑体を行うチドリミドリガイはなぜ砂をかぶるか？	※
	松永 彩○（琉球大院・理工），広瀬 裕一（琉球大・理）	
P-08	Turbo属で保存されたnacrein様貝殻タンパク質	
	宮本裕史（近畿大・生物理工）	
P-09	三重県田中川干潟におけるカワザンショウガイ科3種の分布特性と個体数推定	※
	伊藤龍之介○・木村昭一・木村妙子（三重大院・生物資源）	
P-10	日本産カラマツガイ科貝類の分子系統解析（予報）	
	寺本沙也加○13・照屋清之介23・佐々木猛智3（1岩手県水産技術センター・2沖縄県栽培漁業センター・3東京大学総合研究博物館）	
P-11	浸透交雑は一般的なのか？：ミスジマイマイとヒタチマイマイを例として	※
	石井康人○1・伊藤舜2・亀田勇一3・高野剛史4・脇司5・千葉聡2,6・平野尚浩2,6（1東北大学 理学部 生物学科, 2東北大学 東北アジア研究センター, 3国立科学博物館 人類研究部, 4目黒寄生虫館, 5東邦大学 理学部 生命圏環境科学科, 6東北大学 生命科学研究所）	
P-12	沖縄島の干潟に生息するアラスジケマンとホソスジイナミの形態的特徴	
	糸数尚晃・大城一慶・○山川（矢敷）彩子（沖縄国際大学）	
P-13	浮遊幼生を用いて腹足類の多様性を探る—後鰓類における例	※
	小泉佳祐○（京大院理）・朝倉彰・中野智之（京大瀬戸臨海実験所）	
P-14	国内外来生物やエヤママドポタルの分布拡大によるアマノヤマタカマイマイへの影響および保全に向けた取り組みについて	
	元陳力昇○・森英章（自然環境研究センター）	
P-15	琵琶湖固有二枚貝マルドブガイの実態：ドブガイ類で見られた殻形態の平行進化	
	佐野勲○1・齋藤匠2・伊藤舜1・Bin Ye3,1・上地健琉4・瀬尾友樹5・Van Tu Do6・木村一貴1・平野尚浩1・山崎大志7・白井亮久8・近藤高貴9・三浦収7・宮崎淳一10・千葉聡1（1東北大, 2Masaryk University, 3Chinese Academy of Sciences, 4近畿大, 5石田高校, 6Vietnam Academy of Science and Technology, 7高知大, 8武蔵高校, 9大阪教育大, 10山梨大）	

・注意事項：口頭発表

- ・1講演あたりの発表時間は、質疑を含め20分（1 鈴12分、2 鈴15分、3 鈴20分終了）です。時間厳守をお願いします。なお、制限時間内に終了されても結構です。プログラムは時間を調整しながら進めて参ります。よってプログラムよりも時刻が前後する場合がございます。予めご了承下さい。
- ・会場ではWindows10 (PowerPoint2016)のマシンを用意します。別途PC持ち込みの方は専用接続アダプター等のご準備、OS等環境が異なる方は各自で再生テストをお願い致します。
- ・データはUSBメモリ、またはCD-R等にコピーして当日ご持参ください。ファイル名は「A02_fukumori.pptx」のように「講演番号、アンダーバー、講演者名（拡張子）」（すべて半角英数字）としてください。事前に必ずウイルスチェックを行ってください。
- ・発表データは受付時に係にお渡しください。12日の発表は12日午前9時45分までに、13日の発表は12日午後5時30分までにお持ちください。この時間に間に合わない場合は事務局まで事前にお知らせください。発表後、コピーされたデータは消去します。

・注意事項：ポスター発表

- ・ポスターを貼り付けるパネルはフレーム込み：115×175cm 内側：112×171cmです。パネルサイズを勘案してご準備下さい。パネルへの貼り付け用消耗品は事務局で準備致します。
- ・発表用のポスターは発表当日の正午までにポスター会場に掲示してください。奇数番号は12日、偶数番号は13日のみの展示となります。

その他

- ・スライドやポスターの撮影等は原則ご遠慮ください（なお、予め演者の了解を得た場合は例外と致します）。

大会会場までの交通案内

会場：那覇市ぶんかテンプス館（てんぶす那覇）：〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3丁目2番10号

受付・口頭発表・総会・情報交換会会場 4階ホール、ポスター発表・貝類・パネル展示会場 3階ギャラリー

会場内各フロアや施設・駐車場等に関する情報は以下のホームページをご参照下さい。

アクセス：最寄り駅はモノレール牧志駅が便利です。沖縄都市モノレール「ゆいレール」、那覇空港駅より牧志駅までの要時間16分（てだこ浦西駅行）。牧志駅の改札（2F）から自由通路を通り、エスカレーターで地上に降り、国際通りを西南へ約400m

テンプス館ホームページ <https://tenbusukan.jp/>

モノレールホームページ <https://www.yui-rail.co.jp/routemap/makishi/>



昼食・飲食：会場是那覇市の中心部に位置し、付近に飲食店やコンビニ等がございます。お食事は感染対策の実施された沖縄県感染防止対策認証制度（第三者認証）による認証店舗によるお食事を推奨致します。認証店の情報は以下のホームページからお調べいただけますのでご参照下さい。

<https://www.churaguru.net/special/okininsho/>

弁当を予約された方には受付時に昼食引換券をお渡ししますので、各日昼休みの間に休憩室前でお引き換えください。弁当の予約は10月15日で締め切りました。

盗難対策：最近、本学会を含め、学会開催中の盗難が報告されています。貴重品は各自の責任で管理をお願いします。

大会に関するお問い合わせ：メール受け付け。詳しくは大会ホームページのお問い合わせをご参照下さい。

お問い合わせコーナー <https://sites.google.com/view/msj2022/%E3%81%8A%E5%95%8F%E3%81%84%E5%90%88%E3%82%8F%E3%81%9B?authuser=0>

若手の会：前日11月11日（金）を予定しています。詳しくは以下のホームページをご参照下さい。

<https://sites.google.com/view/msjwakate/>

学会事務局関連：（会場3階 和室）：前日11月11日（金） 13：00～14：00 編集委員会，14：00～16：00 評議員会

大会ホームページ <https://sites.google.com/view/msj2022>